号外 全国保険医新聞（昭和27年10月30日 第三種郵便物認可）2026年9月

保険で より良い歯科医療を!

あなたの願いを署名で国に届けよう!!



署名で実現したいこと

- 窓口負担割合を引き下げて!
- 保険適用範囲を拡げて!
- 歯科の予算を増やして!

いつでも、どこでも、だれもが
お金の心配なく安心して歯科治療が受けられるために

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館5F
TEL03-3375-5121 FAX03-3375-1862 http://yoisika.doc-net.or.jp/

国民医療の向上をめざす
全国保険医団体連合会
https://hodanren.doc-net.or.jp/

衆議院議長・参議院議長　殿



保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名



▶さらなる患者負担増に反対し、お金の心配なく受診できる仕組みを

この間に政府は、患者負担を増やす施策を進めており、医療が受けられなくなる人が増加することが心配されます。従来から「お金が心配」などの理由で、本来歯科治療が必要な方でも受診控えする方が多くいます。諸物価の高騰で家計の負担も増す中、患者負担を増やす施策は、こうした状況に拍車をかけるものとなっています。お金の心配なく受診できるよう患者負担割合の軽減を求めます。

▶まだまだ多い保険のきかない治療、早急に保険導入を

歯科医療では、普及していても保険がきかない治療が多くありますが、この間に少しずつ保険導入も進んできています。たとえば、学校歯科健診で指摘を受けた子どもが、歯科矯正治療の必要性などを医療機関に相談することが保険でできるようになりました。今後は、治療も含めた適用拡大を求めます。保険で入れられる白い歯の範囲も広がってきています。しかし、天然歯に近い透明感と強度をもつセラミックなどは保険がきかないため、こうした素材が適正な価格で保険適用されることを望みます。

▶身近にある歯科医療機関の存続を

歯科医療機関の状況は、物価高騰などの影響に十分に診療報酬制度が対応できていないこともあり、倒産・閉院が年々増加しています。生活圏に歯科医療機関がない無歯科医地区も地域によっては増加しています。低く抑えられている日常的な保険診療の評価が必要です。

▶歯科医療の充実のために予算の確保を

歯科医療が必要な方すべてに提供されることは、憲法で保障された国民の権利です。国には社会保障として誰もが必要な歯科医療が受けられるように制度の整備や十分な財源を確保する責任があります。

患者・国民、医療従事者の願いとして、以下の項目を請願します。

■■■ 請願項目 ■■■

- **お金の心配をせず、安心して歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合を下げてください**
- **健康保険で受けられる歯科治療の範囲を拡げてください**
- **歯科医療の充実に必要な国の予算を大幅に増やしてください**

お名前	ご住所（「同上」「〃」は使わないでください）
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。

私のひとこと

取り扱い医療機関・団体